

さめがわ 議会だより

No
135

平成28年2月

歓声と笑顔の
先には何が...
こどもセンター人形劇

12月定例会

新年のごあいさつ	2
一般会計補正予算	2～3
村の考えを問う(一般質問)	4～7
ふるさと鮫川への想い	8

新年のあいさつ

村づくりのため議員の役割を果たしたい

村議会議長 前田 三郎

新年明けましておめでとございます。

皆様には、平素より議会運営に特段のご理解ご協力を賜り衷心より御礼申し上げます。

東日本大震災、東京電力福島第一原発事故から、間もなく3年の月日が経過しようとしています。

昨年は、村議会として村民の生活安定のために奔走した1年でした。

国では原発事故後の復旧、復興への対応は思うように進展を見られませんが、村では今年も放射線量が年間1ミリシーベルトを超える地区の住宅地周辺の除染、自給牧草の除染、自給牧草の除染作業を進め、放射能汚染とその風評被害から1日も早い脱却を目指しています。

協力を得ながら復興事業を進めていけば以前の自然豊かな鮫川村の姿を取り戻すことができることを確信しております。

今年も復興、除染のために村民の皆さんと一体となり、立ち向かっていきたいと考えます。

村民アンケートの調査結果は、昨年皆さんにお知らせしましたが、皆さんの意見を尊重し後世に託す議会を整えたく、本年は議員定数報酬に

関し検討していく所存です。

また今月には本村では、初めてとなる「子ども模範議会」を村、村教育委員会、学校の協賛で開催します。

子ども模範議会では、鮫川小学校6年生と青生野小学校の5、6年生に村政への関心を高めてもらいたく思っております。

今年は、鮫川村の第4次振興計画（平成27年から10年間）樹立に向けての取り組みを推進してまいります。

議会開会中に各常任委員会は、議案の内容について調査を行い、詳細について各課長などから聞き取り検討調査した。

議案調査

総務文教常任委員会

調査内容

- 鹿角平観光牧場「テージ新築工事設計業務委託料
- 鹿角平観光牧場国有林野土地購入費
- 奨学金基金繰出金
- スクールバス運搬業務委託料





大 樂 勝 弘 村 長

公有施設整備基金、奨学基金など

12月定例会 一般会計

3億5872万3千円の補正予算を可決

12月定例会は、12月10日から12日までの3日間の会期で開かれた。

今定例会では、平成25年度一般会計及び特別会計補正予算のほか、条例など9案件が審議された。

提出された全ての議案を原案のとおり、全会一致で可決した。

また、一般質問では、4人の議員が登壇し、村政全般について質した。

主な歳入補正

○地方交付税普通交付税
2348万9千円追加

○国庫支出金
放課後子どもプラン推進事業費
137万2千円追加

○県支出金
保険基金安定負担金
392万5千円減額
福島県営農再開支援事業費
374万円追加

○繰入金
奨学基金積替事業費
2000万円追加

○農林水産業費
大豆生産奨励事業協力報酬
440万円追加

○農用地除染原材料費
389万円追加
公有財産購入費
1000万円追加
農道整備工事
280万円追加
公有財産購入費
113万1千円減額
水田作付条件整備事業補助金
160万円追加

○商工費
鹿角平観光牧場コテージ新築工事設計業務
171万6千円追加
公有財産購入費
600万円追加

○土木費
河川維持工事
100万円追加

○教育費
奨学基金
2000万円追加

主な歳出補正

○総務費
財産管理費(公有施設整備基金)
3億円追加

○企画費(パソコン備品購入費)
621万4千円追加

○農林水産業費
大豆生産奨励事業協力報酬
440万円追加

○農用地除染原材料費
389万円追加
公有財産購入費
1000万円追加
農道整備工事
280万円追加
公有財産購入費
113万1千円減額
水田作付条件整備事業補助金
160万円追加

○商工費
鹿角平観光牧場コテージ新築工事設計業務
171万6千円追加
公有財産購入費
600万円追加

○土木費
河川維持工事
100万円追加

○教育費
奨学基金
2000万円追加



農道改良工事 藪地内

会 計 別	補 正 額	補正後の予算額
一 般 会 計	3億5872万3千円増	35億6943万4千円
特 別 会 計	国 保 事業勘定	743万2千円減 4億8988万円
	国 保 直診勘定	0 8091万6千円
	簡易水道	56万8千円増 1億2587万6千円
	村営バス	0 790万7千円
	介護保険	12万4千円減 4億3592万2千円
	学校給食	3万1千円減 1億2066万1千円
合 計	3億5170万4千円増	48億3059万6千円

補正が行われた6会計。国保直診勘定、村営バス会計の総額は変わらず内容が変更された。

条例の制定・一部改正を可決

議員発議・意見書の提出を可決

▲**鮫川村公有施設整備基金条例**
公有施設の整備や大規模な補修等に備え、財源とする資金を積み立てるため新たに基金を創設する。

▲**鮫川村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例**
現在の低金利の状況に合わせ、後期高齢者医療の保険料の延滞金及び還付加算金について引き下げる。

▲**2014年度教育予算の充実と教職員定数の改善を求める意見書の提出**
意見書は、文部科学大臣、総務大臣、財務大臣に提出した。

▲**東京電力福島第一原子力発電所における汚染水問題の早期解決を求める意見書提出**
意見書は、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、経済産業大臣、復興大臣に提出した。

問

今後の村振興策を問う

答

農と食に関する取り組みをなお一層前進させる

宗田 雅之 議員



「手まめ館」で働く、地域おこし協力隊の岡部さん

質問

少子高齢化に伴う人口の減少、国の農業政策の変更、そして通商制が囁かれるなかで、村として、今後この様な状況を打破し将来に継承していくために、どのような施策を考えているのか伺う。

答弁(村長)

大量生産・大量消費・大量廃棄による物の豊かさを追及する暮らし方ではなく、環境・資源・食料などを考え、ゆとりや生きがいを大切にすると暮らし方を指して行きたい。また農業を含む諸施策

についても第4次の振興計画においても引き続き取り組んでいくべき路線であると考えている。

再質問

現在取り組んでいる6次産業化でありますが一層の人材教育、人材の採用により取り組みの強化を図るべきではないか。

答弁(村長)

国の補助事業で地域おこし協力隊員を2名採用予定である。こういう方々の力をかり新しい商品の開発、積極的な加工品の販売を目指して行きたい。

再質問

まもなく第4次振興計画に入ると思うが、若い人の声を参考にしたソフト事業村づくり振興策も考えるべきではないか。

答弁(村長)

第4次の計画策定に当り、ぜひ若い人たちの声が反映できる環境づくりを検討し、村民手づくりの振興計画作成に取り組みたいと考えている。

問 食育の現況と施策は

答 食を通して人づくり、健康づくりに繋がるよう指導する

質問

明治維新の医師である石塚左玄の著書に全ての教育の原点は食育にあるとあるが、食環境が変化すると学校教育にどのような取り入れ、指導していくのか。

答弁(教育長)

鮫川村食育推進計画に従い指導計画を作成し、生涯にわたって、健康で質の高い生活を送れるよう指導のあり方を計画している。

問 今年度の村職員の採用状況と、今後の指導は

答 新規採用者はない。採用後は自己研さんに励むよう指導を行う

質問

社会が多様化する中で村を継承していくには行政の対応が大事であると考えているが、今年度の採用者は、採用後の指導は、付託にこたえ、信頼される職員となれるよう、研修などを通して指導していく。

答弁(村長)

採用試験の結果、応募者6名で一次合格者は一名であったが、二次試験は辞退するとの連絡があり、26年度の採用者はない。また採用後は、村民の



関根 政雄 議員

問

消防水利の管理状況と新設の計画について伺う

答

農村総合整備事業の計画に盛り込み、新設改修を計画的に進める



老朽化し整備が求められる防火用水

質問

火災発生の際の初期消火や延焼を防ぐべく、村内の防火用水利について次の各点について伺う。

- ① 防火用水の設置状況、老朽化はしていないか。また漏れなどの防火用水の管理状況。
- ② 防火用水新設、更新の要望はあるか。
- ③ 消防水利表示板は老朽

化していないか。

④ 今後の防火水利確保の計画は。

答(村長)

① 村内の防火水塔は89箇所設置されており、漏れのない防火用水は28箇所ある。40年を超えるものが16基、30年を超えるものが8基、20年を超えるものが4基であり、改修が必要な

水塔は来年度からの「農村総合整備事業」の計画に盛り込む。また維持管理は消防団にお

願いしている。

② 各地区からの要望は、赤坂西野区の火打石、藤平、青生野区の赤小名地内から出ている。

③ 消防水利の表示板の老朽化は消防団の点検項目に加えて報告を受ける事としている。補修については26年度に予算措置する。

④ 簡易水道施設の拡張において消火栓の設置を行う。また自然水利の確保は「地域に精通した消防団の日頃巡視と点検・訓練」を行い有事に備えることが大切だ。

再質問 分かり難い防火用水の案内板、自然水利の表示板の設置など再度点検すべきではないか。

答(村長) 消防水利については地域の消防団、地域住民にも位置の把握をしていただく必要がある。表示板については早めに対応する。

問 鹿角平観光牧場の観光開発の計画について伺う

答 「観光とスポーツの拠点」として第4次振興計画策定作業で村民のご意見をいただき検討する

質問

鹿角平観光牧場の外週に今年度はクロスカントリーコースの林間コースの整備も計画されているが、施設の老朽化や水害による土砂の流出などの問題も残されている。第4次振興計画の策定にあたり総合的かつ長期的な観光整備計画が必要であると考えるが考えを伺う。

再質問

陸上トラックの整備など総合的な計画を練る場合には駐車場の確保も必要なのではないか。

答(村長)

400mの陸上トラックの中の草地に駐車場を兼用できないか専門家の知見をいたたき設計する。

再質問

オートキャンプ場など観光客に料金を落とすとしていただける施設運営の研究をすべきではないか。

答(村長)

村民の皆さんが鹿角平事業所にオートキャンプを必要とするのであれば検討する。

当面は宿泊施設としては既存宿泊施設と農家民宿、バンガロー、コテージで対応したい。

問

工事の進捗状況と新年度事業の基本施策について伺う

答

村民の生活を守る事業を基本に推進する

星 一彌 議員



質問

村民の生活を守る災害工事を始め、多くの事業が発注されているが、その進捗状況と新年度の重点事業及び第4次振興計画に向けての基本的な考えを伺う。

答弁村長

台風18号による農地災害を始め、生活を守る事業を基本にし村民の生活を守る。また村民の健康を守り、暮らしの安全確保に努め、村民の声が反映される第4次振興計画を策定する。

再質問

手まめ館、堆肥センターを核としたリーダー養成の考えは。

答弁村長

手間暇かけた農産物を生産する。また東京都北区の皆さんとの体験交流に期待する。

再質問

人口減少を和らげるために滞在型農園の考えはあるか。

答弁村長

堆肥センター近くにある農地と空き家を利用し

て小規模な滞在型農家体験施設を目指したい。

再質問

現在入居し村内への定住を希望している若者に土地付きで無償提供してはどうか。

答弁村長

整合性を考え検討したい。村民の理解を得られる販売の仕方を考えたい。



有機農業の拠点となる堆肥センター

問 手まめ館の農産物出荷陳列について

答 生産者の育成を図る

質問

加工食品については食品衛生法で管理されているが、生鮮食品については法的な制限はなく販売されている。生鮮食品はどのような工程を経て持ち込み販売されているのか。またハウス補助事業の効果は。

答弁村長

会員の登録をし職員の指示に従って陳列している。鮮度が落ちた商品は生産者の責任において品下げするが、職員の判断で下げる時もある。

販売改善策として葉物は2日ぐらいいで下げ、新鮮食品を提供する様に務めている。また冬期間の野菜促進のためにハウス補助金の引き上げを図りたい。

再質問

他の直売所で消費者の苦情によって販売できない生産者もいると聞いているが、手まめ館では苦情はないのか。

答弁村長

消費者からの苦情はあった。今後は消費者から喜ばれるように生産者に指導をする。また生産者も責任をもって出荷し、商品の均一化を図るように努力していただきたい。

再質問

生産者と職員が更に一体となつて消費者の信頼を高めるのは振興公社の設立であると思うが考えを伺う。

答弁村長

振興公社の設立はもう少し事業を大きくし安心感のある体制にしてから考えたい。



農業振興と消費者の利便性を図る手まめ館



前田 武久 議員

問

平成26年度の予算について、
新年度の重点事業他を伺う

答

学力の向上、食・農教育、伝統・文化の継承、
住民参加・協働の事業を推進する

質問

①平成26年度の国県に対する概算要求、予算編成の状況は。

②来年度の重点事業は。

③今年度事業の執行状況は。

答弁(村長)

①3月定例議会の予算案として提案する予算編成において、概算要求としての予算の骨格をまだ決めていない。

②「あるものを活かす」、村の優れた資源を生かすむらづくり「自然や多様な動植物と共存し、農村環境を創るむらづくり」みんなが安心して生活できるむらづくり「広い視野を持った人材を育成するむらづくり」の4点の重点事業を推進する。

③建設工事、災害復旧工事以外の執行状況は次の通りである。

【総務課】消防ポンプ車1台、小型ポンプ車2台は更新済。

【住民福祉課】特定検診の実績は67.6%。

【企画調整課】買い物弱者支援事業「すまいる」がオンライン。緊急雇用創出事業と庁舎太陽光発電も完了。

【農林課】有機農業指導委託は特別栽培認証者29件

の実績。今年度の中山間直接支払制度、農地除染は完了。

【教育課】基礎学力向上支援事業は50%執行。ソフト教育事業も順調に執行。

再質問

安倍政権になってからTPPの問題など農業政策が変わつてくると感じる。第1次産業が主である本村の予算編成に加味し、重点を置くべきと考えるが、前年度に対しての予算の目標額はどのように考えているのか。

答弁(村長)

25年度当初は27億9300万円、最終的には35億円となった。農業政策については中山間地の町村の力を十分發揮し、手厚い地方への農業支援を要求しながら村の農業振興を図りたい。

再質問

健康づくりの中で重度心身者透析患者の人員推移について説明を求めたい。

答弁(住民福祉課長)

透析に入る前の予防に力を入れているが、医者嫌い、自己判断で透析に

入る人もいる。透析患者は現在8名である。

再質問

青年野の国有地の取得状況は。

答弁(村長)

焼却炉付近の山地として購入の約束ができ、まもなく準備にかかる。1反あたり2万5千円で30haを購入する。

再質問

合併浄化槽の普及率は。

問 公営住宅の整備計画は

答 公営住宅の建設は急務である

質問

①現在の公営住宅の整備状況は。
②今後の整備計画方針は
③利用状況は。

答弁(村長)

①今年度は伏木田地区に2棟4戸、利用状況は住宅戸数の不足で希望者が9世帯待機している。
②今後はひだまり社付近に建設を予定している。
③利用状況は5つの団地で56戸(186名)である。

答弁(村長)

24年度現在で555基が整備された。

再質問

財産台帳整備事業の執行状況は。

答弁(総務課長)

村有地の公図をもとに業者に委託し、3月までの工期で現在進捗中である。

問 災害復興住宅建設に応募しては

避難者の希望先がないために難しい

答

質問

県では災害公営住宅の整備を見直す方針だが、本村として応募してはどうか。

答弁(村長)

復興庁が公募した整備個所には指定されないのが誘致は難しいが見直しを注意深く見守り該当した場合は手を挙げたい。

問 原発除染の進捗状況は

答 除染戸数は37戸で57%の進捗率

質問

今後の進め方と除染物の保管は。

答弁(村長)

環境省、県の指導を受けて検討中。現在フレコンバックは37戸で汚染物は敷地内にあるために不安がある。

※再質問の続きについては会議録にて閲覧することができます。

ふるさと 鮫川への 想い シリーズ⑪

自然豊かな鮫川に生まれ

そこで培った忍耐と感性に感謝

私は赤坂東野宇戸草に生ま

れ、鮫川を離れて37年になりま

す。海外生活が長かったため、鮫

川への帰省は数年に一度でした

が、最近は帰国する機会もで

き、時間の許す限り実家に帰っ

ています。帰郷するたびに、自

分の育った家を守っていてくれ

んぼでは真の中に入ったりして
毎日が冒険でした。思い返せば
当時の生活から探求心や想像
力が養われたことで今の自分が
作りあげられたと思います。

中学校は通学バスがおりま
したが、部活でバスには乗れず
約10kmの砂利道を自転車を通
いました。途中三ッ橋の大き
な石橋に座り休憩してから家に
帰ったこともあり、今考えると
遠い道のりは辛かったが春夏秋冬
冬を肌で感じ、気持ち良い思い出
が残ります。高校時代はバイク
通学ができたので、友達と遠く

海外出張が多く人生の半分は
海外生活でした。現在では会社を
早期退職し、今まで培ってきた
海外体験を生かし、香港で新規
ビジネスを立ち上げておりま
す。

自然に恵まれた環境で生まれ
育ったことで多くのことを経験
することができ、海外でも順応
できる基礎ができたからこそ現
在に至っていると感謝しており
ます。

震災の影響で原発事故によ
る風評被害や益々進む人口の
減少、少子高齢化対策が克服さ
れ、いつまでも活気あふれる鮫
川であることを願っています。

寒い日が続きますので体調
管理に十分留意して頂き本格
的な春を迎えてください。

村民の皆様に関われる 議会だよりを目指して

議会だより
は議会の動き
を村民の皆様
にお伝えする
唯一の広報誌
です。ご意見
やご寄稿を宜
しくお願いし
ます。



議会だよりの原稿を最終校正する広報委員会

編集後記

多くの課題を抱えた中、平成26年
の年を静かに穏やかに迎える事が
出来ました。山の木々が田の土とも
にやがて来る春の訪れを待つかのよ
うに静観し、川の水もまた穏やかに
下流へと流れていく、何時もと変わ
らない巨匠の朝の風景です。ただ違
うのは放射能による環境への影響
であり、2014年「この放射能汚
染をいかに軽減し改善させるかが
大きな課題です。

意志があれば道あり、住民それぞれ
が思いちて事にあたれば、おのず
と道は開けると考えます。2014
年が最後にして最後の年となりま
すように。」

(編集後記)